

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 今月号の特集は「Oligometastases の最新知見 2023」です。俯瞰的な本論文では oligometastases/oligometastatic disease (オリゴ転移) の概念の歴史や、いまだに確立した定義のない現状の大きなコンセンサス、論文読解時の注意点や今後の課題が述べられています。転移が原発と同時に出現か、異時性か、治療誘発性か、再発なのか残存なのか、はたまた増悪病変なのかなど用語の整理もできます。渡部論文では全身を見られるモダリティとして PET に注目し、プローブの違いによる特性や治療方針に与えるインパクトについて解説されています。宇藤論文では臓器としての脳に注目し、脳転移であっても、原発巣に局在する状態と転移が全身広範囲にある状態の“中間”の状態で加療できれば予後が改善される可能性を示しています。山本論文では肺に焦点を絞り、肺へのオリゴ転移に局所医療を加えることで全生存の改善を目指す試みの中で、定位放射線治療での局所制御率の低さや合併症の頻度の高さに警鐘を鳴らしています。佐貫論文では肝臓へのオリゴ転移に対する体幹部定位放射線治療に注目し、適応やエビデンス、正常肝が背景なので放射線感受性の低い大腸癌からの転移は線量増加しやすいが、肝門部では注意が必要などのコツや注意点がわかります。西尾論文では肝臓 IVR を取り上げられており、新技術の積極的な活用や開発について臨床応用への熱意が伝わります。陳論文では副腎のオリゴ転移に対する定位放射線治療について局所治療の意義と治療成績について概説されています。熟練の先生方が示される最先端の知見と治療の現状をしっかりと吸収して下さい。▶ 診療論文では、COVID-19 感染症の肺炎像についてまとめられており、①オミクロン株患者ではデルタ株より肺炎が少なく、あっても非典型的であること、②ワクチン接種歴のないオミクロン株患者は典型的な肺炎所見を呈しやすいことなど、日常臨床での感覚と合致する報告がされています（浅田論文）。▶ 症例論文は今回も様々な領域にわたる豊富な寄稿がなされました。ありがたい限りです。染まらない癌性髄膜炎における FLAIR の重要性（吉川論文）、見かけの拡散係数（ADC）が鑑別に有用であったかも知れない上眼窩裂の孤立性線維性腫瘍（古賀論文）、そして中咽頭癌化学放射線治療との関連が疑われる化膿性脊椎炎（牧田論文）など、どれも誌上で貴重な追体験が明日からの日常臨床のヒントになりそうです。「今月の症例」（前島論文）の血管成分が豊富で赤みがかった耳垂のケロイドと見まがう木村病はとても教育的な症例です。▶ 毎回、同じ思いを開陳して申し訳ありませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切にする「臨床放射線」は特異な編集方針をもつ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 68 巻 第 3 号

2023 年 3 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 44,990 円（本体 40,900 円＋税 10%）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。